

婦人会館だより

第19号 2012年11月1日発行

発行者 財団法人みやぎ婦人会館
理事長 三浦 絢子
仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
TEL 022-299-4530

【一日研修】

あっという間に寒くなり、いよいよ冬到来ですが、婦人会館の一日研修は通年で受け付けております。講話、施設見学は各団体のご希望に添えるように手配させていただいております。何度となく、婦人会館に足をお運びいただきますようお願いいたします。



【楽しいお洒落講座】



第5回は「表情筋ストレッチ～素敵な笑顔に～」講師は歯科衛生士の小林淑子先生でした。目を大きく見開いたり、口を大きく開けて舌を上下に伸ばしたり、ほおを片方ずつふくらませたりして、顔のパーツを意識して大きく動かすことを心がけることが大切なのだそうです。このようにして表情筋が鍛えられると、顔のシワ予防への効果も期待できます。また、加齢により口内が渇き気味になり口臭の原因にもなることから、歯をしっかり磨き、併せて舌も磨くことも教わりました。よ～し、今日から始めよう！と思ったみなさん、小さいことからコツコツと・・・がんばりましょう！！

【楽しいタモリ講座】

輝く女性になるための「第3回タモリ講座」は11月20日(火)午後1時半から仙台サンプラザホテルで『貴女の幸せ見つけます～顔は心の鏡』を開催します。この講座は、本県唯一の人間鑑定士である佐藤忠男氏を講師に迎えて、一人でも多くの女性に日々の生活を豊かに過ごして欲しいという願いを込めて開催しています。皆様方の御参加をお待ちしています。



📣お知らせ 1 ～今年度の出前講座は終了しました～

婦人会館では、市町公民館、各種女性団体等に出向き、家庭教育、青少年前育成、女性団体の活動支援等に関する講話を行っております。今年度も多くの団体から申し込みいただき、予定の団体数を超えましたので、今年度の出前講座は終了いたします。出前講座をご活用いただきまして有り難うございました。

📣お知らせ 2 お待たせしました！おからかりんとう入荷！！

東日本大震災により製造販売が困難になっておりました、女川のマルユーベーカリーさんが4月より現在の鳥取から女川に戻り再開することとなり、それに先立ち鳥取からおからかりんとうを取り寄せました。おからかりんとうは種類がたくさんあるので、迷ってしまいますが、試食でお試ください。震災以来、問い合わせが多かった宮城県漁連さんの煮干しも取り寄せることができるようになりましたので、是非、お土産にお買い求めください。

行ってきました！

【竹馬の友大学】第6回では仙南シンケンファクトリーで、ウイナーづくりとグラス絵彫りに挑戦しました。ウイナー作りでは皆さん、腸詰めに苦勞されて、始めは力の入れ具合で上手に注入できなかつたりしていましたが、次第に手際よく腸詰めできるようになりました。茹で上がったウイナーを味見するとスパイスがきいてとても美味しかったそうです。グラス絵彫りは、好きな絵をグラスにサインペンで描き、ペンの線の上を少しずつ自分で機械を使って彫りました。オリジナルのグラスで好きな飲み物を飲むのも、また格別ではないでしょうか。



午後には、角田宇宙センターを見学しました。角田でH・IIA・H・IIBロケットのエンジンの作動確認試験や調整試験の行っていることの説明を受けて大変勉強になりました。

【みやぎの食探訪】



残暑から急激に秋深くなった10月中旬、中新田の「アップルふぁ～夢」へりんご狩りに行ってきました。今年は雨が少なく夏も長かったことから、ほんの2、3日前から赤く色づき始めたとのことでした。確かにまだ青々としたりんごが目立ちます。でも、食べてみると意外に甘味がありました。近くの幼稚園からの小さいお客さんに混じりながら、少しでも赤いりんごを・・・と足が攣りそうになりながら必死に体を伸ばして、もぎとっている姿も見られました。この農園で、りんごジャム作りやいも煮、バーベキューをしっかりと御馳走になってきました。

【子育て広場“まってるよ”】梨狩り遠足

第6回の“まってるよ”では、あいにくの雨で予定を変更して塩竈のエस्पで粘土遊びやお絵かきなどを楽しみました。エस्पは塩竈市民以外にも自由開放していて、充実した施設で子供たちも走り回って遊んでいました。梨狩りは雨の為に梨園に入れませんでした。たくさん試食をいただきました。



【秋の親子旅物語】凧製作と凧揚げ in 泉ヶ岳

第4弾では10月21日に泉ヶ岳少年自然の家で凧製作と凧揚げに行ってきました。仙台凧の会の浜会長自らご指導をいただき、凧に自分の好きな絵を描き、骨組みの竹を取り付けて完成。



泉ヶ岳の広々とした山の斜面で凧を揚げました。糸を長くして走らずに、風に乗せるように揚げるとどんどん糸を伸ばして、空高く舞い上がっていきました。子供たちは、連凧は一枚の凧より風の抵抗が強く、持ち手にかなりの負担がかかることを実感し、良い体験となりました。

